



笹小だより



◎令和5年6月27日号

伊丹市立笹原小学校

通知表のファイルを変更します

2020年、全国どこの学校でも一定の水準が保てるように文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準が大きく変わりました。この学習指導要領は、およそ10年に一度改訂されています。

学校がこれからの社会と切り離された存在ではなく、グローバル化や急速な情報化、技術革新など社会の変化を見据えて、子ども達が生きていくために必要な資質や能力について見直しを行っているものです。

本市ではかねてより通知表について見直され、かつての手書き・ゴム印を使用したものから、現在ではプリンタによって学期ごとに印字したものへと変わってきました。

それまでの年間通して一枚の通知表に並べて記載していた様式ではなく、学期ごとに印字された通知表を一つのファイルに綴ってお渡ししています。

しかしこの度、お子様の学びの様子をお伝えする通知表を、より保護者や児童にとって見やすいことに重点をおき、また前学期ともより比較しやすいように見直した結果、右のような袋状のクリアファイルを採用することとしました。

本学期から変更いたしますので、ご理解くださいますようお願いいたしますとともに、お子様の学びの様子を是非ご家庭で話題にさせていただき、次への目標や励みとなりますことを願っています。



夏休みを前にして、気になること…

もう少しで1学期も終わりを迎えようとしています。終業式が7月20日のため、今年は7月21日～8月27日の38日間の夏休みとなる予定です。



今年は体育での水泳授業もかつてのように実施していますが、ここ数年コロナのために十分な水泳授業を行うことが出来ていないのが実情です。これから迎える暑い夏、海やプールなど水際での遊びも多くなるかも知れませんが、前まで泳げていたからとか、これくらいの深さなら大丈夫などと過信をせず、命を大切に安全第一で夏を過ごしてください。

また泳力だけではなく、数年間の間に体力が維持されているかどうか不安でもあります。熱中症にも十分注意し、外出するときには帽子をかぶり、お茶などを持参してこまめに水分を補給することにも是非注意して楽しい夏休みにしてください。

『笹原祭り』が 復活します

2019年の夏を最後に、コロナ禍により中止されていた『笹原祭り』が、実に4年ぶりに開催されることとなりました。

この3年間、コロナにより自粛されてきた笹原小学校校庭での夏祭りも、地域の皆様の子ども達に楽しみを…という言葉のもと、復活することとなりました。

しかし、新型コロナウイルスの取り扱いが、5月から5類感染症と位置づけられたものの、全面的になくなったわけではなく、備える対策は必要となっているところです。そこで夏祭りの主催となる「コミュニティ笹原協議会」でも、何度も何度も協議された結果、久しぶりに開催する『笹原祭り』を7月22日(土)(雨天等予備日：23日)の16時～19時と時間を短縮して開催することに決まりました。

本年度は開始時刻が早く、短縮することから、櫓(やぐら)は組みませんが、スポーツクラブ21をはじめとしたいろいろな団体から、たくさんの出店が計画されているそうです。

来夏には是非もとのような活気に溢れた納涼の夏祭り『笹原祭り』が復活されますことを願っています。

今後についてはまだまだ不明ですが、いずれにしても、今夏久しぶりに復活する夏祭り、楽しみにしたいと思っています。



写真は2019年



写真は2019年

土曜学習『笹っ子マナビエル』始まる

今年も土曜学習『笹っ子 マナビエル』が始まりました。本年度は、年間11回の講座で普段出来ないような学びを実施します。すでに登録は終了し、たくさんの児童の皆さんが参加してくれることとなっています。

本年度の第1回が6月17日(土)に開催されました。冒頭の開講式では、『マナビエル』という名前の由来をお話ししました。マナビエルというのは、漢字で書くと「学び得る」となり、新しいことを知ったり、発見したりしたことを自分のものにしていきましょうというところから作られた造語です。当時、保護者の方からの提案で名付けられました。

第1回は「キャサリンとナンシーの金融教育」と題して、お金の考え方や使い方についての講座でした。むかしどうしてお金が出来たのかや、そのときの問題点を考えながら、今のお金に変わってきたことについても知ることが出来ました。

お金の価値を正しく知り、貯めること・使うことについてお話いただきました。感謝の気持ちとともに、お金のありがたさや大切さを考えて、自分の生活の中で使ってくれることと思います。



